

あとがき

渡辺照男先生は昭和 39 年に九州大学医学部を卒業された後、大学院博士課程（病理学）に進学し、心筋梗塞で死亡した 4 歳の FH の解剖例がきっかけとなり動脈硬化研究の道に入られました。その後の生涯をかけて行った研究成果が、ついに今回「粥状硬化：実像と成り立ち、臨床との関わり」という集大成として日本動脈硬化学会会員に公開の運びとなりました。今までに類をみないこの動脈硬化の専門書は、渡辺先生が 30 年以上取り組んでこられた自らの研究によって、動脈硬化の病理形態の基礎から、マクロファージや内皮細胞、平滑筋細胞、T リンパ球、樹状細胞といった血管構成細胞生物学、脂質代謝異常、プラーク破裂の臨床的な意義というような、幅広い内容の動脈硬化研究の現代までの進歩の歴史を取り上げ、尚且つ平易に記述されたものです。本書の大きな特徴として数多くの貴重な人体病理カラー写真が掲載されており、動脈硬化の病態及び発生機序、その臨床との関わりを雄弁に物語っています。それゆえ本書は、学生や大学院生には動脈硬化の知識を得るための貴重な教科書であり、動脈硬化研究者のみならず、医師、特に動脈硬化専門医試験の受験を希望する一般臨床医やバイオメディカル関係者にとっても、必須な参考書になることが期待できます。本書をお読みいただき、少しでも渡辺先生が残された大きな足跡を感じていただければ幸いです。なお、出版にあたり、日本動脈硬化学会病理部会の浅田祐士郎先生や学会事務局より多大なるご尽力をいただき、深謝申し上げます。

日本動脈硬化学会
病理部会長 範江林

粥状硬化 実像と成り立ち、臨床との関わり 第二版（非売品）

2022 年 12 月 28 日 初版 1 刷発行

2023 年 12 月 13 日 第二版 1 刷発行

著者 渡辺照男

発行 一般社団法人 日本動脈硬化学会

本書の無断複写は法律での例外を除き禁じられています。
転載許諾申請は日本動脈硬化学会にお問い合わせください。

© 2023 Japan Atherosclerosis Society All Rights Reserved